



ひ さい せい かつ く ふう
【被災生活の工夫】

み ず せ っ や く
水を節約する

- ▶ バケツに水をためて洗い物をする
- ▶ お皿にラップを敷く
- ▶ トイレは手おけで少しずつ流す



水を節約する

■ 状況シートの説明



▶ 場面ごとの説明

- ① 段ボール箱をテーブルがわりにして、食事が終わりました。「ごちそうさまでした」と、みなとくとみさきちゃん。お母さんが「はい」と答えました。
- ② 食事が終わったら、洗い物です。「ペットボトルの水、食器を洗うのに使うわね」と、お母さんが言いました。「えっ!」みなとくんは驚きました。
- ③ ペットボトルの水を使って食器を洗おうとしているお母さんの手を押さえながら、みなとくんは「○○○○○」

▶ セリフの例 (行動)

「だめだよ」「飲み水に残しておこうよ」
「ペットボトルの水を洗い物に使うのはもったいないよ」

▶ 発問例

- ・ どうしてみなとくんはお母さんを止めたのですか？
- ・ ペットボトルの水を使わずに、お皿をきれいにする方法はありますか？
- ・ どの家にもある物で、お皿を汚さずに使うためには、どうすればいいですか？
- ・ 他にも、お水を節約する方法はありますか？

■ 教訓シートの説明



- ・ 災害時には水道が止まってしまうことがあります。水を節約して使わなくてはなりません。
- ・ いろいろな場所から取ってきた水用途に分けて、効率的に使いましょう。例えば、給水車やペットボトルのきれいな水は飲み水や料理に、プールの水はトイレを流したり、洗濯に使えます。
- ・ 日頃から水を大切に使うように心掛けましょう。

▶ バケツに水をためて洗い物をする

- ・ 使ったお皿を洗う前に、キッチンペーパー、ティッシュペーパー、布で汚れを拭き取ります。
- ・ バケツに水を入れ、少量の洗剤を入れ、バケツの中でお皿を洗います。きれいな水をバケツに入れて、すすぎます。

▶ お皿にラップを敷く

- ・ お皿にラップを敷いて使えば、お皿は汚れません。
- ・ 食べ終わった後は、汚れたラップを捨てれば、そのままお皿を使えます。

▶ トイレは手おけで少しずつ流す

- ・ トイレの水を流すのに、1回でだいたい10リットル、大きいペットボトル5本分ほど必要です。
- ・ トイレはレバーを使って水を流さず、手おけで少しずつ流しましょう。
- ・ トイレトペーパーは、小便の場合トイレに流さず、ごみ箱に入れましょう。

■ 東日本大震災の教訓

東日本大震災のように大きな地震があると、水道が復旧するのに何カ月もかかる地域があります。その間、水は給水車にもらいに行き、運んでくるしかありません。「飲み水として使える給水車の水やペットボトルの水はもったいなくて食器を洗うのに使えなかった」と、多くの人が語っています。